



平成21年7月6日

各 位

会 社 名 E・Jホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小谷 裕司
 (コード番号 2153 東証第2部)
 問合せ先 管理本部副本部長 浜野 正則
 (TEL. 086-252-7520)

特別損失の発生および連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年5月期の連結会計年度において特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせするとともに、平成20年7月15日に公表しました、平成21年5月期(平成20年6月1日～平成21年5月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の発生

連結子会社が保有する固定資産について、将来の回収可能価額を見直した結果、2億37百万円の減損損失を計上する見込みであります。

2. 平成21年5月期連結業績予想数値の修正(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 当期純利益
前回発表予想(A)	18,800	500	680	230	円 銭 873.32
今回修正予想(B)	16,369	△979	△772	△1,573	円 銭 △5,975.56
増減額(B-A)	△2,430	△1,479	△1,452	△1,803	—
増減率(%)	△12.9	—	—	—	—
前期実績(平成20年5月期)	18,565	350	588	△289	円 銭 △1,098.68

3. 修正の理由

当連結会計年度の事業環境は、公共事業費の削減傾向が続き、民間設備投資も回復の兆しが見られない状況のなか、道路特定財源問題による予算の失効など厳しい経営環境で推移しました。このような状況を受け、連結の業績予想は、受注高156億51百万円(前年比86.0%)、完成業務高163億69百万円(前年比88.2%)となる見込みであります。利益面に関しましては、売上高の大幅な減少、競争激化による利益率の低下等の影響を受け、営業損失9億79百万円、経常損失7億72百万円となる見込みであります。また、固定資産の減損損失2億37百万円、厚生年金基金脱退損失2億89百万円、投資有価証券評価損64百万円、経営統合関連費用42百万円等の特別損失を計上したため当期純損失15億73百万円となる見込みであります。

なお、当社の業績予想および配当予想につきましては変更ありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上